



発行：NPO法人デンマークの食と暮らし研究所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館12F  
Tel 03-3213-4801 Fax 03-3213-5406 ホームページ : <http://www.danishforum.jp/> メール：[info@danishforum.jp](mailto:info@danishforum.jp)

いずこ き いずこ さ  
何処より来たりて何処へと去るのか  
年の始めに

2019年初号のニュースレターをお届けします。年があらたまり時は流れ、流れた時間の中に新しい命はもたらされ、そしてこの世界から去っていった命もありました。人は人の誕生に出会う際よりも、むしろ人がこの世を去った場面に遭遇した際に、より深く人の実存を思うものかもしれません。掲出した絵の作家ポール・ゴーギャン<sup>※1</sup>の妻<sup>※2</sup>はデンマーク人女性でありました。5人の子供をもうけたこの女性と彼は人生のかなりの時間をコペンハーゲンで過ごしました。外形的にはありふれた勤め人であったゴーギャンのコペンハーゲン時代の日々は経済的にも私生活においても決して幸せなものではなかったようです。内に画家たらんと志がありながらの勤め人生活は、おそらく砂をかむようなフラストレーションの多い時代であったと思われる。コペンハーゲン郊外のオーレラップゴーの美術館<sup>※3</sup>で、ゴーギャンの印象派時代の作品をいくつか見たことがあります。あのゴーギャンは当初印象派として画家の道に入ったのです。それらの(印象派的な)作品は率直に言って素人目にも見るべき才能の片鱗すら無く、絵画としてむしろお粗末なものでありました。コペンハーゲン時代の幾つもの不遇の後に、南太平洋への漂泊、そして画家としてのゴーギャンの名を不朽のものとするタヒチでの作品群が生まれてくることになるのです。

掲出作品の表題 **‘われは何処より来たりて我ら何者なりやそして何処へと去るのか’** はそれらゴーギャンの作品中でも間違いなくマスターピースであり、圧倒的な訴求力で人に迫ります。デンマーク時代のゴーギャンが、もしも経済的に家庭的に、デンマーク社会のなかで成功していたならタヒチへの漂泊も無く一連のゴーギャンの代表作品も生まれてこなかったことでしょう。

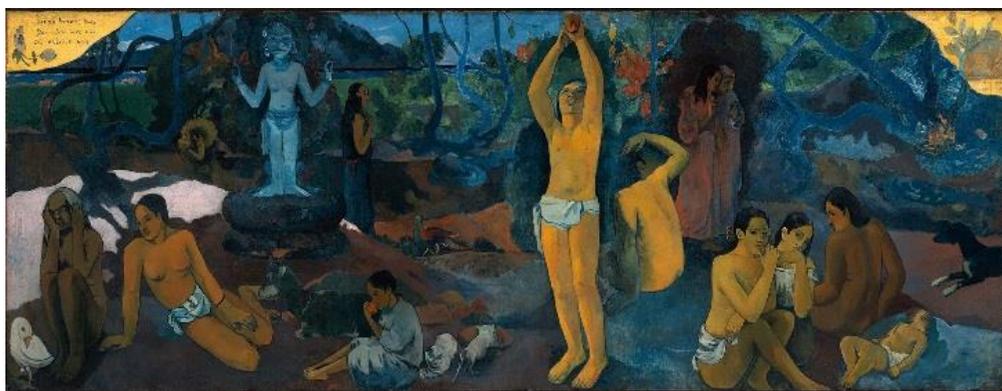
年の始めにはとりわけ人の命と存在の不可解を思います。何処から来たのかということも、何処へと去るのかということも終わりの無い問いではありますが、ゴーギャンの絵にはそうした、人間への尽きせぬ不可解が奇跡のように描かれています。

19世紀英国の詩人トマス・キャンベル(Thomas Campbell)の詩に次のような一節があります。

**To live in hearts we leave behind, is not to die.**

後に残す人々の心の中に生きるのであれば、それは死ぬことではない。(筆者仮訳)

ポール・ゴーギャンの絵には人生の哀しみと共に、キャンベルに通じる、永遠への肯定と人の生命への賛美があるように感じるのです。(TO)



※1 ポール・ゴーギャン Paul Gauguin(1848-1903)

※2 メット=ソフィー・ガット Mette Sophie Gadd(1850-1920)

※3 オーレラップゴー美術館 Ordrupgaard Museum コペンハーゲン北部にある。モネやセザンヌなどフランス印象派のコレクションでは北欧一を誇る美術館



2018年12月12日水曜日 大手町のKKRホテル東京で毎年恒例の食と暮らし研究会クリスマスパーティが開催され、34企業84名もの方々に参加いただきました。今年の余興はちょっと変わったスタイルの参加者のお名前を使ってのビンゴをいたしました。たとえささやかなものでもできる限り多くの方々にビンゴのプレゼントとなるように工夫いたしました。協賛をいただきました会員各社の皆様ありがとうございました。今年は参加者どうしの交流がいつも以上にできたかと思えます。年末のお忙しい中、ご参加いただきました皆様と深く交流ができたことにデンマークの食と暮らし研究会一同感謝いたします。ありがとうございました。

## 第18回 Danish Pork 親睦ゴルフ大会

2018年11月17日爽やかな秋の晴天の下、茨城県つくばみらい市にある取手国際ゴルフ倶楽部で「第18回Danish Pork」親睦ゴルフ会を開催しました。デンマーク産豚肉をご愛顧いただいております食肉・フードビジネス業界関係者90名皆様が一堂に会し、親睦をはかりました。見事優勝されましたのは日本ハム加工事業本部生産購買部 林泰弘氏でした。

## ポークアカデミー開校のお知らせ

デンマークで長年培われた技術と理論を学ぶポークアカデミーが開校されます。  
日程は2019年5月12日(日)～5月24日(金)  
詳しいお問い合わせは・・・デンマーク農業理事会  
☎ 03-3213-4801  
※デンマークポークアカデミーは豚肉に関する業界関係者のみを対象とさせていただきます。ご了承くださいませ。

オペティミストデインギーという艇長僅か2.31メートルほどの小さなヨットがあるのをご存知ですか？子供たちがヨットというスポーツを始める時、まず始めにこのデインギーで基礎的な訓練を受け、風や海流、ヨットの操作を学びます。オリンピックなど世界のヨット競技で活躍するトップ選手たちはほぼ全員がこのデインギーからスタートすると言われています。現在国際的な場面で活躍する日本人選手もほぼ全員が少年少女時代はデインギー選手でした。競技としてのデインギーは15歳までの少年少女によって世界中で行われており毎年日本からも多くの代表が参加しています。日本におけるデインギーの始まりは、1965年在日のデンマーク人貿易商であったカイウオールハート氏(写真)がデンマークの王立ヨット協会と協力して江ノ島ヨット協会に6艇のオペティミストデインギーを寄贈したことからはじまりました。2018年3日間にわたった第50回記念の全日本選手権は11月25日決勝レースが行われ競技会場となった江ノ島ヨットハーバーには協会名誉総裁高円宮妃殿下、スウェーデン駐日デンマーク大使、ピザラ浅野会長、デンマーク農業理事会小野澤代表も競技を観戦、競技終了後の表彰式にも出席しました。



左から2人目浅野会長、スウェーデン駐日デンマーク大使夫妻 高円宮妃殿下、小野澤代表



## 編集後記

4月1日新元号が発表、30日に天皇陛下が退位され平成が終わります。昭和・平成ときて新元号になり、3つの時代を経験することになんとかもの凄く古い人間になったように感じられます。5月1日に皇太子殿下が天皇に即位され新しい時代が始まりますが、次はどんな時代になるのでしょうかね。  
H.K